

# ウィリアム・リケッツ・サンクチュアリー



ウィリアム・リケッツ・サンクチュアリーは、自然と精神世界が融合する完璧な環境です。ここは、ダンデノン丘陵の自然環境にアボリジニの像の彫刻が設置されている、美と静寂の場所です。

このサンクチュアリーは、ウィリアム・リケッツという一人の男性による信条の表明です。彼は、自然の環境は私たち全員に委ねられており、私たちは、地球を育むことによって生命を育むことになると確信していました。

## ウィリアム・リケッツの簡単な歴史

1898年にビクトリア州リッチモンドで生まれたウィリアム・リケッツは、1934年にダンデノン山に永住しました。

1912年から1920年まで、ウィリアムはバイオリン演奏、装身具作成、粘土づくりの芸術的スキルを身につけました。

1949年から1960年には、中央オーストラリアへ頻りに旅行して、アボリジニの Pitjantjatjara 族および Arrernte 族と共同生活をしました。彼らの伝統と文化が、ウィリアムの彫刻のインスピレーションとなりました。

1970年にはインドに渡り、2年間インドに滞在して最も大きい彫刻作品に取り組みました。インド滞在中、ウィリアムはインドの人々と精神的な面で共感し、ボンディシェリの Sri Aurobindo Ashram (世界的に有名なスピリチュアル・センター) で時間を過ごしました。

サンクチュアリーにあるすべての彫刻は、炉で焼かれた粘土で作られています。これらの彫刻作品は、1200度の温度で焼かれた後、森の中に設置されました。流れる水は、生命の流れる本質を表しています。

ウィリアムは、1993年に94歳で亡くなりました。

## ウィリアムの哲学

ウィリアムは、環境とその生息地が長年にわたり大量破壊されていたことを懸念していた自然主義者でした。

ウィリアムの哲学は、生体細胞が個々の生命体を作成するのではなく、地球上に存在するものはすべて1つの生命の一部であり、すべてが1つの生命に統合される、というものでした。

## 生命は愛

ウィリアムは、自分の生命哲学について、次のように情熱的に書きました。

*「生命は愛。あなたのすべてを私のすべてに。自然の一部であるために、私たちは皆、鳥や木々の兄弟です。」*

*私たちと共に、美の神聖さに加わってください。私たちは最高であるときに、世界の美の一部となります。私たちは、自信が造物主と設計主の一部であることを知っているので、私たちの心と心臓と手をこのように表現するにあたり、神から発されたものを神に返します。*

*私たちは全員、神聖なる力が変化したものです。愛が彫刻および音楽の形式で表れるとき、私たちはこれを通じて神に触れることができるため、多大な恩恵を受けます。自分自身のために愛を保持する唯一の方法は、他人に惜しみなく与えることです。あなた方の兄弟であるウィリアム・リケッツは、あなた方が私とこれらすべてを分かち合い、楽しむことを望んでいます。これを私たちの祈りにしましょう。*

*オーストラリアの森林を神聖化し、神の詩として森林のために、そして森林について話すことができますように。私たちが豊かな生きる力を持ち、神から与えられた想像力が刺激されて、このメッセージを読むことにより、真の美を追求するという崇高な任務を果たすことができますように。*

*人間は自然が生み出した最高傑作です。したがって、すべき協力をするにより、あなた方は神からの授かりものを要求することができます。*

## 開園時間

毎日午前 10:00 から午後 4:30 まで(クリスマス・デー、極端な悪天候の日、または工事実施日を除く) 入園料金が掛かります。

当サンクチュアリーを訪れる機会が限られている方は、訪問する予定の日に 13 1963 まで電話して確認してください。

## 写真

訪問者は、個人使用の目的でのみ写真撮影が許可されています。サンクチュアリーを反映しているウィリアム・リケッツの意思を尊重して、商業用の撮影は大幅に制限されています。サンクチュアリーでは、刊行物を販売していません。